

三泉ふくし

揮毫：渡辺将二

令和5年2月5日
第52号

編集発行 三泉地区社会福祉協議会
会長 土田芳昭



人権の花植え 三泉小学校三・四年生

令和4年6月23日

思いやりの心を胸に



思いをこめて植えることが出来ました

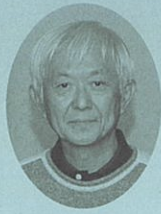


元気に咲き続けますように



ミニ人権教室で「人権とは何だろう。」と一緒に考えました。「花を育てる上で気をつけていくことはどんなことがありますか。」と子ども達に聞いたら「水をかけること。」「肥料をやること。」「雑草をとること。」「花にも命があるので思いやりの心で育てたい。」と答えてくれました。人権とは「思いやりの心。」そして「考えよう、相手の気持ち。」と呼びかけました。

最後に「きれいに植えてよかった。」「思いをこめて植えることが出来た。」「人権ということを知ったからそのことを思い浮かべながら育てていきたい。」と感想を述べてくれました。



マスクなしで「体温」が伝わる日を

三泉地区社会福祉協議会

会長 土田 芳 昭



三泉地区のみなさまには地区社会福祉協議会の事業について常日頃よりご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

地区福祉協議会の事業は多岐にわたっております。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により人の集まる研修事業が思うようにできなかつたり、直前に中止になることもありました。また、見守りネットワーク事業もコロナ感染防止の観点から最小限での訪問・面会になつていたかもしれません。コロナ禍にあつて人々は家にこもりがちでお互いに接する機会がなくなつたと言われます。反面、スマホやパソコンを介してのオンライン会議や面会が定着してきました。でも、伝わる情報量が限られており直接の会議や面会とは大きな開きがあると思つています。面と向かつて話す相手との表情やしぐさなどから「体温」が伝わってくるのが一番の違いかもしれません。マスクをしなくてもいろいろな人と会つたり話したりできる日が待ち遠しいものです。

福祉子ども図画展

三泉小学校三年生

ぼくの、わたしの大好きな家族の姿を

東部地区民生児童委員協議会主催、福祉子ども図画展に三泉小学校と西根小学校の三年生が描いた図画作品を十二月十四日〜二十二日ハートフルセンター一階ホールに展示されました。

ぼくの、わたしの大好きな家族の姿を生き生きと描いた素晴らしい作品でした。



ごとう ゆうと 勇斗
いつもなかよし



ごとう ねお 寧音
料理上手なおばあちゃん



おおえ れお 怜央
やさしいおじいちゃん



つちだ めい 芽依
料理がとくいなおばあちゃん



つちだ まゆみ 真結美
パンキをぬるおじいちゃん



つちだ そら 蒼空
松の手入れをしているおじいちゃん



たかはし そら 空良
パソコンしているおじいちゃん



わたなべ 叶彩
けん道がんばるおじいちゃん



わたなべ かな 香奈
いねかりをするお父さん



まつだり のあ 梨乃亜
やさしいおばあちゃん

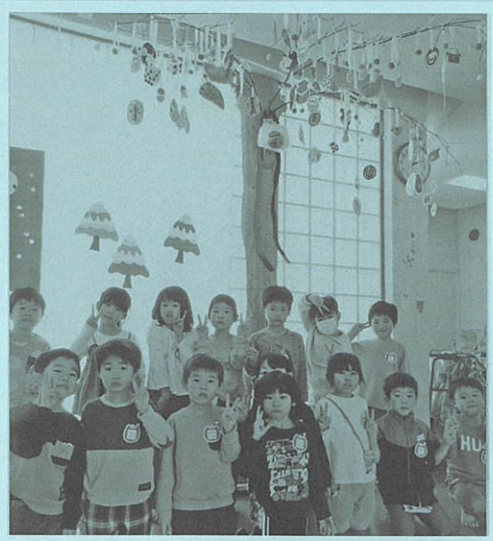


にしお 春菜
あみ物を教えてくれるおばあちゃん

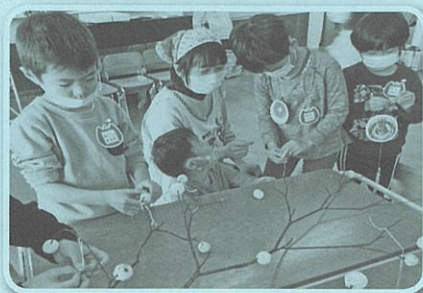


だんご木飾り

なか保育所・三泉分園



「すみれ組 16名」家族みんなが健康で安全に過ごせますように



みんながかぜをひきませんように

一月十三日なか保育所・三泉分園（菅蒲久栄園長）すみれ組十六名は、紅白のだんごを丸め、みず木に飾りましました。コロナ禍で今年も世代間交流が出来ませんでした。

人権書道教室と 寒河江市内小学校書道展

三泉小学校五・六年生

寒河江西村山地区人権書道コンテストに向けて五・六年生の人権書道の練習会が七月十四日と十九日に行なわれました。とても真剣に取り組み、力強く書くことができました。審査の結果六年生の渡邊日和野さんが寒河江人権協議会より優秀賞で表彰されました。十二月四日～十三日まで寒河江市内小学校の書道展がフローラSAGEで開催されました。

優秀賞

六年 渡邊 日和野
六年 渡邊 日和野

六年 平和
六年 軽部 然

六年 友情
六年 近野 叶多

六年 友情
六年 佐藤 克哉

六年 希望
六年 渡辺 権莉

五年 希望
五年 柴田 望

五年 勇氣
五年 高橋 芽咲

五年 生命
五年 土田 淳太

五年 友情
五年 土田 葉琉

五年 生命
五年 保科 新

委員の異動

退任のみなさん
ありがとうございました。

（敬称略）

大泉 八郎（上河原町会長）
秋場 廣明（入倉町会長）
渡邊 将二（老人クラブ連合会長）

新任のみなさん
よろしく願います。



老人クラブ連合会長
渡邊 照夫

昨年四月より三泉地区きららクラブの会長役を引き継ぎました。新型コロナウイルス禍の中、年間の各活動行事も思う様に出来ず、地域との交流も機能が低下しています。また、子供達との世代間交流も中止になっています。人口減少を伴う少子高齢化の進展等から地域住民が互いに支え合いながら地域の福祉力を高めていくことがますます重要になっています。これからも誰もが心豊かに暮らせる地域福祉の為、皆さんとともに活動をしていきたいと思っております。

令和4年度
三泉地区社会福祉協議会委員名簿

No.	役職名	氏名	団体役職名	備考
1	会長	土田 芳昭	道生町会長	前町会長連合会長
2	副会長	渡邊 敏行	上河原町会長	町会長連合会副会長
3	副会長	大江 芳信	民生児童委員	地区民児協会長・下河原担当
4	庶務・会計	土田 久子	主任児童委員	道生
5	監事	秋場 秀夫	雲河原町会長	町会長連合会長
6		後藤 清司	下河原町会長	
7	委員	渡邊 則芳	中河原町会長	
8	委員	秋場 修一	入倉町会長	民生児童委員(入倉・雲河原担当)
9	委員	渡邊 豊	民生児童委員	中河原担当
10	委員	船田 茂幸	民生児童委員	上河原・道生・いずみ担当
11	委員	渡邊 一博	人権擁護委員	下河原
12	委員	後藤 君子	地域福祉推進員	下河原
13	委員	軽部 悦子	地域福祉推進員	下河原
14	委員	加藤 武彦	地域福祉推進員	中河原
15	委員	菊地 清吉	地域福祉推進員	上河原
16	委員	中村ミサ子	地域福祉推進員	入倉
17	委員	菊地 直人	地域福祉推進員	道生
18	委員	秋場 正彦	地域福祉推進員	雲河原
19	委員	渡邊 照夫	老人クラブ連合会長	中河原
20	委員	菊地 勝	消防団第8分団長	上河原

(敬称略)



地区推進委員
加藤 武彦

令和四年度になって、中河原自治会の副会長をすることになりましたが、地域福祉推進委員も兼務することとなり、一人暮らしの老人世帯の見守り等を行うことになりました。初めての福祉推進委員で何も判らない状況で、市の研修などで具体的な行動ややり方を勉強させてもら

うと考えていましたが、新任研修会には出席出来ましたが、八月の全体研修会や十一月の研修視察などがコロナで中止になり、自己流で見守りを行うしかありませんでした。

一年弱、地域福祉推進委員を担当させてもらいましたが、近年、少子高齢化に合わせ、核家族化が進み、高齢者夫婦だけの世帯が増えてきました。その上、ご夫婦の片方が亡くなられると、老人一人世帯になってしまいます。(中河原で老人一人世帯は十世帯以上あります。)



地区福祉推進委員
菊地 清吉

そういった意味で、地域福祉推進委員の見守りがますます重要となつてきていると思いますので、微力ではありますがありますが、出来る限り頑張りたいと思います。

上河原町会の福祉推進員に任命されました。推進員の活動等は経験も

編集後記

昨年度はサッカーワールドカップで日本は強豪ドイツとスペインを破り初のベスト16に進み私達に勇気と希望を与えてくれました。

一方新型コロナウイルスは依然減らず四年目になります。そのため世代間交流事業は中止せざるを得ない残念な状況です。世界情勢ではウクライナへのロシア侵攻も一年になります。どちらも私達の日常生活に様々な影響をもたらしています。早い終息と平和を願ってやみません。今年は「卯年」です。穏やかで健康安全、一步「飛躍」「向上」する年にありたいものです。

渡邊 一博



シャコバサボテン
2022.12

無く、わからない事ばかりですが、皆様のご指導を受けながら、取り組んで参りたいと思います。

新型コロナウイルスにつきましても、早くコロナ禍前の生活に戻る様にと願っていますが、行動制限が大幅に緩和されている現状であり、益々気をつけなければならぬと思つて居る所です。

明るく住みやすい町会になるよう、民生委員の方との連携を取りながら、力不足ではありますが、勤めて参りますので、よろしくお願い致します。